

泡瀬地区公有水面埋立事業アンケート、質問6.「沖縄の自然環境保全についての見解」(50字以内)、回答者(36名)のみ、順序は沖縄市先頭、マスコミ報道順

選挙区	氏名	所属	沖縄の自然環境保全についての見解を、50字以内でご記入下さい。
沖縄市	嘉陽宗儀	共産	泡瀬干潟をはじめ、辺野古、高江、宜野座、浦添など、自然破壊の新基地建設に反対するとともに、琉球諸島を世界自然遺産に登録し保全を求める。
	仲村未央	社民	マツクイムシの拡大、実弾演習による山火事など、米軍基地内にも国内法を適要させる必要がある。県行政の柱に「環境」を位置づけ、地球規模の視点で自然との共生の道を探るべきだ。
国頭郡	岸本恵光	自民	中部の将来を考えた場合、現行の大型事業の推進は重要であり、自然環境に配慮しながら、工事の推進を求める
	吉田勝廣	無所属	自然環境の保全なくして、沖縄の未来はない。生活や農業・建設工事の現場からも、日頃から自然を大事にする心がまえが大切だ。
	平良昭一	無所属	せまい郷土に大自然が残っている貴重な島である。産業振興の為に仕方ない部分があるが、特に農地開墾の規制は徹底すべき
名護市	玉城義和	無所属	自然環境の保全についてはすべての政策決定の原則とすべきで特に沖縄では将来を左右する重大事項。
	吉元義彦	自民	自然環境保全については、様々な問題があるものとする。家庭排水の問題、山林開発等による赤土の流出の問題等、その他(個人、グループ等によるゴミの問題、飼い犬等ペットを捨てる問題等)。いちがいに自然環境保全を簡単に答えられるものではない、と考える。
うるま市	照屋大河	社民	世界有数の沖縄の海のサンゴ群落は、真に世界遺産であり、保全されるべきものであると考えます。
	山内末子	民主	世界に誇れる自然環境、地球を守る運動も含め、一人一人の意識啓発、政治の力で推進していかなければならない。
中頭郡	新里米吉	社民	(記載なし)
	仲宗根悟	無所属	観光立県として沖縄は自然が資源。自然の姿を人の力で変えたら必ず報いを受けます。自然は人間だけのものではありません。
	新田宗信	無所属	「自然は宝」保全すべきは努力すべき。
宜野湾市	渡嘉敷嘉代子	社民	沖縄の自然環境は未来へ引き継ぐ貴重な財産であり、特色ある景観の保全の視点からも重要な課題
	新垣清涼	無所属	特別保護であるべきやんばるの森やジゴンの棲む辺野古の海や稀少種の生物が活動する泡瀬の海の自然が破壊されつつあることは真に残念あり、世論にうたえ中止する方向に持っていくべきである。次の世代に青い海、青い空そして豊かな自然を残すことは我々の使命であると考えています。
	当山勝利	社大	(記載なし)
浦添市	西銘純恵	共産	琉球諸島を世界自然遺産に登録保全。沖縄の自然、文化、地場産業を生かす観光推進。新基地建設、乱開発に反対。
	狩俣信子	社民	乱開発をやめることや、産業や生活から出される汚染物質の処理のありかたが問われる。基地からの環境問題も大切。
那覇市	比嘉京子	社大	(記載なし)

那覇市	前田政明	共産	亜熱帯の琉球諸島を世界自然遺産に登録し保全すべき。沖縄の貴重な自然・文化・地場産業を生かした観光、エコリズムを推進すべき。
	當間盛夫	そうぞう	沖縄の自然は宝であり、資源である。環境保全はこれから大切な行政・政治の課題と認識している。
	山川典二	自民	開発か自然保護かというテーマについてはケースバイケースで安易に回答できないが、沖縄の自然を守る立場に立脚して行きたい。
	仲松寛	自民	自然との共生、開発と環境保全は重要な課題。沖縄の財産である自然を大切にしながら経済活動を促進するバランスが求められる。
	崎山嗣幸	社民	沖縄の自然を守ることは、地球規模の環境保全につながることをまず認識する必要がある。そのために貴重な動植物の生育環境を守る施策を考える。
	渡久地修	共産	基地建設や乱開発で、沖縄の自然環境を破壊させてはならない。自然環境保全は後世への責務である。
	上里直司	民主	経済振興は必要だが自然との調和が不可欠。沖縄の自然は人類の宝。地球の持続可能な発展のためにも必要である。
	仲村千恵子	無所属	「沖縄の自然環境保全」について賛成ですし、活動に関わっておられる方々に敬意を表します。又、私は厳密に「海岸線の埋立不可」とした条例や環境基本法の理念を正しく継承し、法の改正をも含めた運動を、国の財政出動等のあり方も含め検討・行動に移すべき時期にきていると思います。
	屋良朝助	無所属	自然を生かし、癒しの島として世界的にアピールしていく。自然を生かし保護することで直接経済的に結びつく方策に転換していかなくてはならない。
豊見城市	島袋大	自民	自然環境保全にむけての公共工事のあり方は本県の建設技術からしてすぐれていると思う
	真栄里保	共産	北部の森林破壊や海岸の埋立行為が、沖縄県の貴重な財産である自然を破壊していると思います。環境の保全と共生のあり方に、県民みんなで考えるべきときに来ていると思います。
糸満市	玉城ノブ子	共産	泡瀬干潟や、名護市辺野古、東村高江、宜野座村、浦添市など、自然を破壊する新基地建設に反対するとともに、琉球諸島を世界自然遺産に登録し保全する政策を持っている。観光政策では、沖縄の自然・文化・産業などを生かした観光をすすめる。ガソリン誘致や本土企業による観光地買占め、乱開発ストップの立場を明らかにしています。
	玉城耕一郎	無所属	沖縄は亜熱帯の島嶼森林と珊瑚礁に支えられ個性的な自然環境を持っている。島々の生態系は水域に囲まれた狭い陸地で、独立性が強く、閉鎖的な特徴を持っている。それが生物の多様性と貴重な固有種や固有亜種が多い理由である。学術的に重視されている。同時に重要な観光資源にもなっている。
南城市	嶺井光	自民	本県の自然環境は歴史・文化と共に他に誇れる地域特性であり保全・継承すべき。必要な開発は最小限にすべき。
島尻郡	大城一馬	社大	(記載なし)
	新垣安弘	民主	自然環境保全に理解のある県政にしない限り問題の解決にならない。
	神里良光	無所属	沖縄には特有の動植物があり、行政で残すべき自然環境について定めをつくり保全方に努めるべきであると考えている。
宮古島市	奥平一夫	無所属	ヤンバルの森でのダム建設、開発事業・行為による環境悪化、赤土流出に伴う海域汚染、海浜や干潟の埋立など、自然環境の破壊と汚染は著しいものがあり、環境保全対策は急を要する。
	座喜味一幸	自民	環境に配慮した開発が原則

石垣市	高嶺善伸	無所属	「環境は経済である」。自然環境を守ることが沖縄らしさを持続する担保である。
-----	------	-----	---------------------------------------